



受賞作品

第73回産経児童出版文化賞

産経新聞社賞

『ずかん石積み』

ニシエ芸石積み研究会//著 (511ズ)

棚田や城壁などに使われている石積みを紹介し、石積みの基礎的なつくりやポイント、メリット、SDGsとの関連性などを、豊富な写真やイラスト、まんがを交えてわかりやすく解説する。クイズ、実際に積むためのレシピも掲載。

フジテレビ賞

『ちょっとだけともだち』

なかがわちひろ//作 (913ナ)

カメが好きな一平くんとヒロくんだけど、ほかに好きなものは違うし、いろいろ合わない。でも…。一平くんがあたらしい一歩をふみだす物語。「すてきなひとりぼっち」「ぼくは、ういてる。」に続く一平くんのおはなし第3弾。

ニッポン放送賞

『白い虹を投げる』

吉野 万理子//作 (913ヨ)

同じ野球チームでがんばっていた、ヤヤと葉央。ふたりはメールを送り、たがいに励まし合う。「キャッチボールクラシック」という大会を知り、そこで再会することを誓うが…。少年・少女の友情ストーリー。

翻訳作品賞

『レーナとヒキガエルの紳士』

ジュリア・サルダ//絵 河野 万里子//訳 (E9サ)

西のはての奇妙な森の主、ヒキガエルのクアクア卿の家に招待された、無口な少女レーナ。その晩、レーナがその家で発見したのは…? ジュリア・サルダの美しい絵とともに、ちょっぴりこわい昔風の物語を堪能できる絵本。

第31回日本絵本賞

大賞

『ある星の汽車』

森 洋子//著 (E4モ)

広い大地を走る汽車に、さまざまな鳥や動物が乗っています。しばらくすると、車掌さんに声をかけられたモーリシャスドードーやブルーバックなど、乗客たちが次々と降りていき…。絶滅動物を描いた絵本。

『いま、日本は戦争をしている』

堀川 理万子//絵と文 (210ホ)

太平洋戦争中、子どもたちは日々、何を感じながら暮らしていたのか。空襲、原爆、地上戦、引き揚げ、疎開…。子どもたちの語りを通して戦争の理不尽とリアルを伝える絵本。

日本絵本賞

『もりのあさ』

出久根 育//作 (E9デ)

女の子は、朝もやが残るころにかごを持って森へと出かけていきます。まだ目覚めたばかりの森。くさはらには宝石のような朝露が光り、やがてりすたちも枝の上に姿を見せます。女の子は大好きな森の夜の姿に思いを馳せていき…。

※こちらに記載されている児童書(絵本,913)は、児童コーナーにあります。

※『ある星の汽車』は、第57回講談社絵本賞,第73回産経児童出版文化賞美術賞受賞。

受賞作品

<p>第45回新田次郎賞</p> <p>『雀ちよっちょ』</p> <p>村木 嵐//著 (F ムラ)</p>	<p>瞬く間にスターダムに上りつめた大田南畝は、江戸の狂歌を牽引する存在になるが、松平定信の台頭により出版界に肅清の嵐が吹き荒れる。一方、長男・定吉には狂気の萌芽が見え-</p>
<p>第12回日本翻訳大賞</p> <p>『聊齋本紀』</p> <p>閻 連科//著 谷川 毅//訳</p> <p>(923.7 イ)</p>	<p>絵画の中で生を得る絵師、人間の心臓を食べて転生する妖女、狐と人間の交歓など、千夜一夜物語のごとく紡がれる世にも不思議な36の物語を収録。</p>

ドラマ化作品

<p>『勿忘草の咲く町で 安曇野診療記』</p> <p>夏川 草介//著 (F ナツ)</p> <p>勿忘草の咲く町で ~安曇野診療記~</p> <p>出演:福本莉子,菅生新樹 ほか</p>	<p>老人医療とは何か、生きることと死んでいることの差は何か? 高齢の患者が多い地方の小規模病院で、答えのない問いに必死で向き合う若き研修医と看護師の奮闘を、現役医師が描いた連作短編集。</p>
--	---

映画化作品

<p>『黒牢城』</p> <p>米澤 穂信//著 (F ヨネ)</p> <p>黒牢城</p> <p>出演:本木雅弘,菅田将暉 ほか</p>	<p>織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか-</p>
<p>『SINSIN AND THE MOUSE』</p> <p>(「ミトンとふびん」所収)</p> <p>吉本 ばなな//著 (F ヨシ)</p> <p>SINSIN AND THE MOUSE</p> <p>出演:岸井ゆきの,ツェン・ジンホア ほか</p>	<p>たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて生きていく-。今日もまわりつづける地球上でめぐりゆく出会いと、ちいさな光に照らされた人生のよろこびを描いた短篇集。</p>
<p>『死ねばいいのに』</p> <p>京極 夏彦//著 (F キョ)</p> <p>死ねばいいのに</p> <p>出演:奈緒,伊東蒼 ほか</p>	<p>無礼な男が、死んだ女のことを私に尋ねる。私は彼女の何を知っていたのだろうか。暴かれる嘘、晒け出される業、浮かび上がる剥き出しの真実。人は何のために生きるのか…。</p>

※赤字はドラマ・映画のタイトル